

平成24年度の経営環境と業績

平成24年度のわが国経済は、厳しい雇用・所得環境が続く一方で、年末の政権交代以降はデフレ脱却を目指した「大胆な金融緩和」への期待を背景に円高是正が進み、輸出産業を中心に景況感の改善が進みました。

海外経済は、欧州の景気後退や中国経済の減速などにより、年央にかけて昨年来の減速した状態が続いていましたが、年度後半は米国経済の回復や中国経済の下げ止まりなどにより徐々に持ち直しに向かいました。

金融市場では、年央にかけて欧州債務問題により投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界的に株価は軟調に推移しました。また、日米欧の長期金利は歴史的な低水準に低下し、為替市場では円高が進行しました。年度後半は、欧州当局の諸施策により欧州債務問題が一時に比べて後退するとともに、わが国においては、11月の衆議院解散総選挙を契機として新政権への政策期待や金融緩和強化の観測が高まり、円高是正と株高が進みました。

JAバンクを取り巻く環境については、少子高齢化の進行、利用者による金融機関の選別志向の高まり等を背景に、他金融機関との競争が厳しさを増しています。

このような経営環境のなか、当会は中期経営計画の最終年度として、会員JAとの一体的事業運営態勢を拡充し、有価証券等の効率的な運用に努めた結果、142億円の当期剰余金を計上することができました。

収支状況

低金利により運用環境が厳しいなか、有価証券利息配当金の減少等により経常収益が減少しましたが、昨年秋以降の新政権への政策期待による市場環境の好転により有価証券売却損益が改善した結果、本業の成果を示す業務純益は209億円、経常利益は186億円、当期剰余金は142億円となりました。

貯金

貯金は、会員JAからの受け入れが順調に増加したことにより、期中1,210億円、3.3%増加し、期末残高は3兆7,108億円となりました。

貸出金

貸出金は、新規取引先の開拓や既往取引先との取引深耕、シンジケートローンへの参加等に注力しましたが、企業の資金需要の低迷や他行との金利競争の影響等により、期中44億円、1.2%減少し、期末残高は3,419億円となりました。

有価証券

有価証券は、長期金利が低水準で推移したことにより国債の購入が少なかった一方、保有債券の償還や効率的な運用のための債券売却の実施により、期中631億円、4.8%減少し、期末残高は1兆2,479億円となりました。

自己資本比率

預け金の増加によりリスクアセットが増加した一方、自己資本額も内部留保の積み上げ等により増加した結果、自己資本比率は、前年対比0.14ポイント上昇し、27.14%となりました。

最近5年間の主要な経営指標

(単位:百万円)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
経常収益	61,521	54,942	51,935	52,316	49,716
業務純益	27,211	21,391	22,206	20,398	20,934
経常利益	9,532	13,726	18,956	17,945	18,659
当期剰余金	9,044	11,483	15,129	13,354	14,281
貯金	3,308,522	3,365,326	3,456,620	3,589,797	3,710,861
預け金	1,927,557	1,899,895	2,015,846	2,251,729	2,474,448
貸出金	425,670	402,093	364,526	346,411	341,932
有価証券	1,090,210	1,258,678	1,315,833	1,311,084	1,247,983
出資金	66,357	66,356	72,536	79,245	88,616
(出資口数)	6,635,700口	6,635,690口	7,253,690口	7,924,590口	8,861,690口
純資産額	230,356	246,311	255,298	276,497	308,618
総資産額	3,726,797	3,807,785	3,907,685	4,113,265	4,282,414
剰余金配当金額	8,876	8,946	8,012	5,208	5,037
普通出資配当の額	525	525	525	525	525
後配出資配当の額	1,064	1,064	1,157	1,288	1,462
事業分量配当の額	7,286	7,356	6,330	3,394	3,049
職員数	153人	155人	155人	156人	163人
自己資本比率(単体)	34.48%	31.96%	30.29%	27.00%	27.14%
信託報酬	48千円	63千円	—	1千円	3千円
信託勘定貸出金残高	—	—	—	—	—
信託勘定有価証券残高	—	—	—	—	—
信託財産額	39,965千円	—	—	10,000千円	67,602千円

注:①職員数は常勤嘱託を除いた人数となっています。

②従来「特別利益」に含めておりました貸倒引当金戻入益および償却債権取立益は、平成23年度から「その他の経常収益」に含めて記載しています。

●利益の推移

・業務純益

209億34百万円

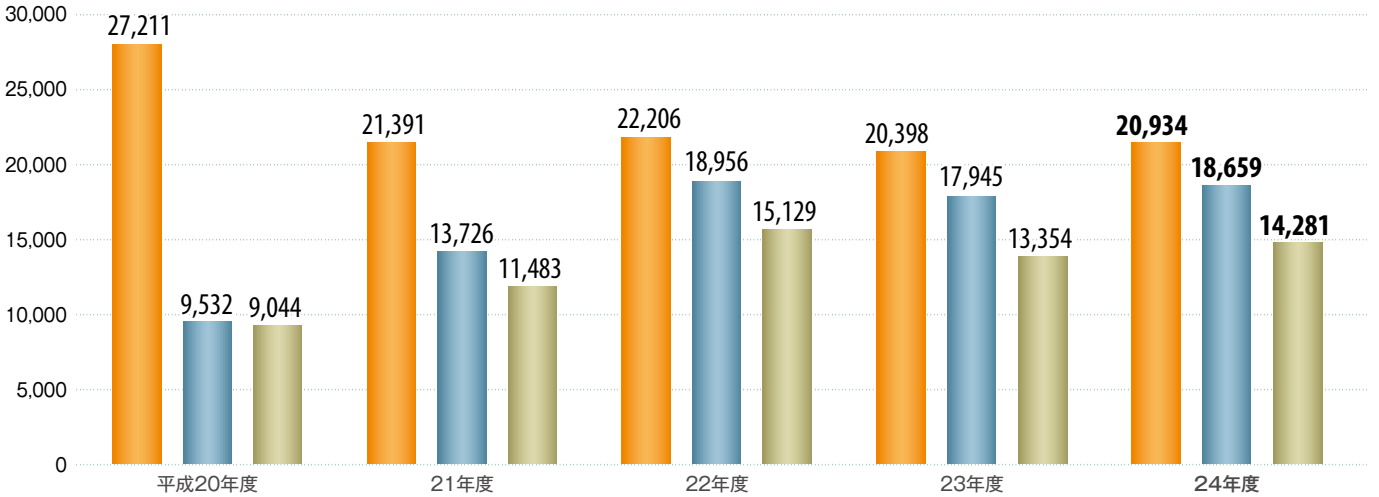
・経営利益

186億59百万円

・当期剰余金

142億81百万円

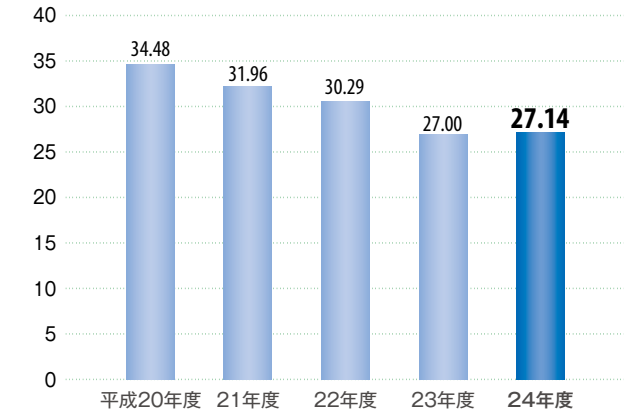
(単位:百万円)



●自己資本比率(単体)の推移

27.14%

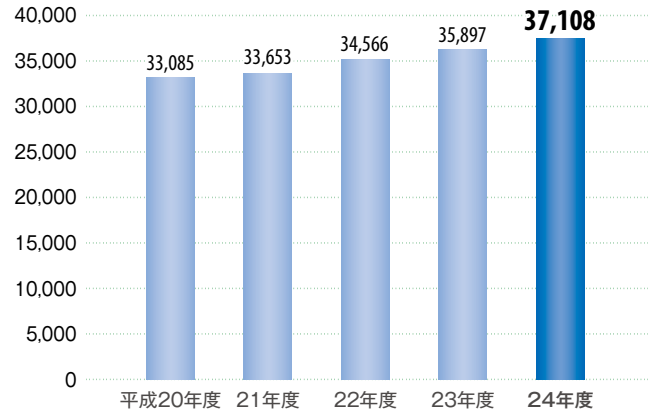
(単位:%)



●貯金の推移

3兆7,108億円

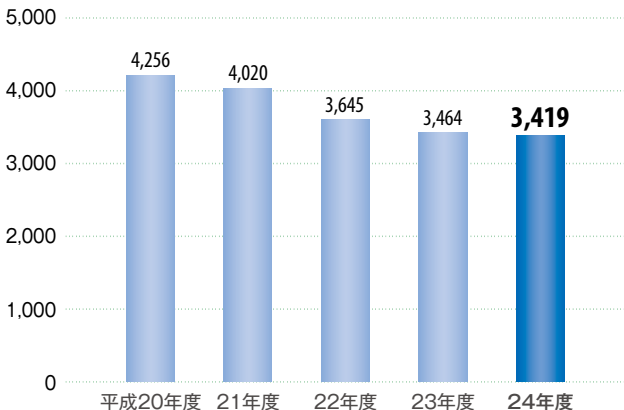
(単位:億円)



●貸出金の推移

3,419億円

(単位:億円)



●有価証券の推移

1兆2,479億円

(単位:億円)

